

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土・日
内科	7番	(一般内科・神経内科) 鎌田	(一般内科・神経内科) 西山	(一般内科・神経内科) 福徳	(一般内科・神経内科) 石川	(一般内科・呼吸器) 金井
	8番	(一般内科・呼吸器) 白井	(一般内科・呼吸器・アレルギー) 早川	(一般内科・呼吸器) 永福(建)	(一般内科・呼吸器・アレルギー) 早川	(一般内科・呼吸器) 白井
	11番	(一般内科・呼吸器) 藤田	(一般内科・呼吸器) 金井	(一般内科・糖尿病) 池谷	(一般内科・糖尿病) 池谷	(一般内科・消化器) 森
	12番	(一般内科・呼吸器) 伊藤				(一般内科・呼吸器) 三輪
	13番				(循環器) 受付8:30~11:00 佐藤	
初診	金井/岩泉・福徳	藤田/三輪・鎌田	藤田/交代制 福徳/石川	白井/岩泉・西山	池谷・岩泉/伊藤	
小児科	(小児一般) 伊熊	(小児一般) 豊田		(小児一般) 豊田		
泌尿器科 (一般泌尿器・腎不全) 再診のみ			受付12:30~16:00 再診のみ 杉山			
児童精神科 初診・再診とも 「完全予約制」です。	1 (51番)		山村		山村	
	2 (52番)			高貝		
	3 (53番)	内山			内山	
	4 (55番)			杉山		
眼科 第1木曜日のみ				受付13:30~16:30 田邊		
皮膚科 毎週水曜日のみ			受付8:30~11:00 池谷			

*泌尿器科は再診患者様のみです。
*児童精神科を初めて受診される方は、事前に電話予約が必要となります。

各種相談担当医一覧表

相談区分	実施日	相談内容	担当者
禁煙外来	毎週木曜日 (午後)予約制	・禁煙希望患者様に対し、禁煙までの診療指導。 (内科外来にて予約受付いたします。)	呼吸器・アレルギー科 医師
もの忘れ外来	毎週月曜日 (午後)予約制 (初診のみ)	・認知症の早期診断と治療 (内科外来にて予約受付いたします。)	第一診療部長 石川邦子 神経内科医長 鎌田 皇 神経内科医長 西山治子
小児心臓外来	毎週月曜日 予約制	・心疾患の相談や検査、治療。 ・学校心臓検診など。	療育指導科長 伊熊正光
小児生活習慣病外来	月、木曜日 (午後)再診・予約制	・小児肥満、糖尿病、高血圧の相談や検査、治療。 (最初は午前中の外来でご相談下さい。)	療育指導科長 伊熊正光
小児心身症外来	月、木曜日 (午後)再診・予約制	・慢性的な頭痛や腹痛、夜尿症など、慢性疾患や長期間持続する 症状の相談や検査、治療。(最初は午前中の外来でご相談下さい。)	療育指導科長 伊熊正光
乳児健診	月、木(午前中)	・乳児健診(静岡県母子保健事業にかかる) 4ヶ月、10ヶ月健診。	療育指導科長 伊熊正光
予防接種	毎週月曜日 (午前)予約制	・三種混合、麻しん、風しんなどの定期予防接種の実施。	療育指導科長 伊熊正光
医療相談	月~金曜日	・医療費の支払、各種健康保険の手続き、障害者申請の方法。 ・療養や社会復帰の際の心配ごと等の相談。	医療社会事業専門員 椋本美穂
栄養相談	月~金曜日	・食事療法の具体的な方法、生活習慣病予防のための食事の献立。 ・食物の栄養やカロリー等の説明や相談。	管理栄養士 小馬瀬明義、折戸 秀行 濱野 正和、三村 直希

*希望される方は、医事係受付までお問い合わせ下さい。(平日の8時30分から17時15分まで)

予約検査一覧 ①消化器内視鏡・胃透視・注腸造影 ②気管支鏡 *検査は受診のうえ、予約が必要です。

〈編集後記〉

皆さん 明けましておめでとうございます。副院長の白井です。
今年ひつじ年。
ぐっど。じょーぶ!
今年もよろしくお祈りします。



りゅうりゅう

国立病院機構 天竜病院

浜松市浜北区於呂4201-2 TEL(053)583-3111(代) FAX(053)583-3664



かがやき

vol.61
2015.1月発行
http://tenryu-hosp.jp/

「七つのまちがい探し」

※解答は中面をご覧ください。



医療機器の共同利用を行っています

当院では地域医療機関の先生方の診療に役立てるようCT・MRI・骨密度測定装置の共同利用を行っています。予約制で当日に検査を行うことも可能です。お問い合わせは地域連携室へご連絡下さい。



新年のごあいさつ

さかのぼること10年ほど前に院長に就任して以来、スタッフに伝え続けてきたのは「変化」の重要性です。めまぐるしく変わる医療環境に対応していくには、現実を受け入れて速やかに変化していく必要があるからです。幸い今では、大半のスタッフが変わっていくことが当たり前だということに認識しているようです。さて、「変化」にもいろいろなレベルがあります。既に述べたことは、どちらかというと外部環境に適応していく意味合いが強いのですが、スタッフには今年からは自己変革的な「変化」のレベルをお願いしています。患者さんにとってよりよい医療サービスを提供できるための話し合いが、院内の各所で自発的に行われることを期待してのものです。できて当たり前のようですが、残念ながら私の感覚ではこれはいくらでも難しいことです。でも、頑張ります！また今年からは、病院整備の最終段階の外来部門の建替が始まります(病棟と同じく免震構造です)。当面は設計図の作成なので騒音はさほど発生しませんが、来年には建築段階に入りますので、かなりうるさくなるかと思っております。私は夕日が大好きで、1年を通して落日が見える場所に暮らしています。夏と冬と比べると、驚くほど離れた地点に夕日は沈んでいきます。夕日は、地平線や水平線に触れたとたんどんどん形を変えてすぐに消えていきます。同じ夕日は二度と見られないのだなと思うと、時間の流れを実感せざるを得ません。スタッフ一同、限られた時間を大切に、今年も利用頂ける患者さんのために様々な知恵を絞っていききたいと思っております。お気づきのことがあれば是非ご指摘下さい。どうぞ皆様この1年がよいものでありますように。



国立病院機構天竜病院
院長 早川 啓史

あけましておめでとうございます。

第10回 市民公開講座を開催しました

企画課長 奥村

「第10回市民のための公開講座」を10月4日(土)午後2時から「なゆた・浜北 大会議室」で開催しました。

当院は、浜北区内と天竜区内で毎年交互に市民公開講座を地元医師会と共催しています。浜北区では子どもの医療、天竜区では高齢者医療を主なテーマにしています。

今回は「すこやかな子どものこころと発達のために」をテーマに児童精神科部長の「子どものこころと体の発達」と主任心理療法士による「子どもに伝わるほめ方・しかり方」の講演を行いました。

浜北医師会会長の開会挨拶で始まり、浜北医師会副会長と当院副院長が講演座長を務め、当院院長が閉会挨拶を行い、浜北区開催では最高となる186名と多数の参加があり、立ち見席がでるほどでした。



また、小さなお子様を持つ親御さんが参加できるように託児所を設け、乳幼児35人を受け入れました。新たな取り組みでは、当院のゆるキャラ「りゅうりゅうくん」が会場受付前に登場して子ども達と交流を行い好評でした。なお、アンケートの回答を137名からいただき、このアンケート結果を参考にして皆様に役立つ内容の講座を今後も継続していきたいと思っています。



天竜病院での診察場面をテーマにシリーズでクイズを出題していきます。空欄に入る答えを下の健康キーワードから選んでね!
※解答は欄外下をご覧ください。

ロコモティブシンドロームって?

理学療法士：今日は運動をテーマにお話をします。早速ですが、このなかで「ロコモ」を知っている方はいらっしゃいますか?

患者：ろ・こ・も?聞いたことないなあ。

理学療法士：ロコモはロコモティブシンドロームを略した言い方です。日本語で「運動器症候群」とも呼ばれます。高齢化が進んだ日本で、単に寿命だけを延ばすのではなく、健康で過ごせる期間である「①」を延ばすために提唱されたのがロコモティブシンドロームです。メタボリックシンドロームの次はこのロコモの時代だと言われています。

患者：へえ、ロコモねえ。でもまだちょっと分かりづらいなあ。

理学療法士：ロコモティブシンドロームとは主に加齢による骨や関節や筋肉といった②が衰えることにより、日常生活での自立度が低下し介護が必要になったり、寝たきりになったりする可能性が高い状態のことをいいます。例えば、足腰が弱くなり立ったり歩いたりする移動が大変になってきた状態もロコモです。

患者：私はロコモなのかなあ?

理学療法士：8つのチェック項目からロコモの可能性を予測することができます。3つ以上の該当がある場合はロコモの可能性があり、体を動かすための「筋肉」や「関節」などの運動機能の低下を生じている可能性

があります。特に足腰の筋肉の衰えはバランス能力の衰えに関係してきます。

- 「1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇れない。」
- 「2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれない。」
- 「3. 15分くらい続けて歩けない。」
- 「4. この1年間に転んだことがある。」
- 「5. 転倒に対する不安がある。」
- 「6. 家の中でつまづいたり滑ったりする。」
- 「7. 片足立ちで靴下が履けない。」
- 「8. 横断歩道を青信号で渡りきれない。」

理学療法士：結果はどうでしたか?

患者：ありゃ、わしはロコモかもしれん!先生、わしは健康で長生きしたいんじゃこれからどうしたらいいんですか?

理学療法士：腰や膝など体のどこかに痛みはありますか?

患者：特に、今の所は大丈夫じゃ。

理学療法士：それなら簡単な運動に散歩があります。一日当りの歩数を③歩増加させると良いと言われています。普段より少し早歩きで④分間歩くと約1500歩になります。

患者：散歩は毎日やるんですか?

理学療法士：目標は⑤、2日に1度行るのが効果的です。少し早足だけど隣の方と会話ができる程度の早さがいいですね。自分のペースを見つけて健康寿命を伸ばしましょう!

健康キーワード 1500 週に3回 健康寿命 運動機能 15

当院で一緒に看護をしませんか

副看護部長 小沢

緑に囲まれ小高い山の上にある当院は、麓からも一際白い建物が顔を覗かせています。ご存じとは思いますが、主に呼吸器・アレルギー科(結核を含む)、内分泌・代謝内科、神経内科(神経難病)、児童精神科、重症心身障害の医療を行っています。多くは介助を必要とし、長期入院の必要な患者さんです。看護を実践するためには、私たちがモットーとしている“じっくり向き合う、じっくり応える”の精神がとても大切です。最近では、パートナーシップ制度を取り入れられたり、ユマニチュードの精神で患者さん、職員ともに関係が持てるよう取り組み始めました。

地域に密着した病院として、誰からも愛され利用される病院を目指して日々奮闘しています。協力して働いてくれる仲間を募集しています。興味を持たれた方は、お気軽に看護部長室までご連絡下さい。

電話:053-583-3111【代表】

インターンシップ随時受付中

- ・毎週水曜日 9時00分～15時30分(水曜日以外も相談に応じさせていただきます)
- ・交通費支給・昼食準備・白衣貸与いたします。
- ※病院見学も随時受付中。(交通費支給)



天竜産業観光まつりに参加して

管理課長 新谷

平成26年11月3日(月)例年恒例の天竜産業観光まつりに職員総勢38人が参加しました。

11月3日は雨との予報が出ており心配しましたが、当日は朝から晴天で非常に大勢の方が簡易健康診断や握力測定にご来店いただきました。

天竜病院のブースの様子は下記のとおりです。

健康診断コーナー(骨密度・肺機能・体脂肪・血糖・血圧)は200名以上が来店され、検査キットが無くなってしまいました。

握力測定は370名・コースター作成は80名の方に来ていただき、15時30分の終了までコースター作成を行っていただきました。

スーパーボールすくい 約400名、輪投げ 約300名、ヘリウム風船

650ヶ・バルーンアート 500ヶと準備した全ての物を天竜病院のブースに来ていただいた方々にお渡しできました。



天竜病院のマスコットキャラクター「りゅうりゅうくん」も天竜産業観光まつりに参加し、子供さん達と一緒に記念撮影をしたり、



握手をしたり楽しい時間を過ごしました。

今回で7回目、天竜産業観光まつりの出店希望者が増えているとの天竜商工会のお話がある中、これからも地域に密着した病院として、地域の方に天竜病院を知っていただく機会にしたいと思っています。